

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
板東泰史議員	1. 中学生の交通安全指導について ①中学校校門前で教師が交通安全指導をしているが、別の交差点では信号無視をしている生徒がいる。指導方法を抜本的に改めてはどうか。 ②横断歩道の横で自転車にまたがったままお喋りし、渡る素振りがない。他人からどう見えるかという点も指導を強化してはどうか。	自分勝手な行為が、自分や周囲を危険にさせることを常に意識し、適切な行動ができるよう指導を進めていく。	今後も継続して指導していく。 教育委員会
	2. 広域ごみ処理施設稼働時の資源ごみの回収方法について 松茂町が広域ごみ処理施設計画から脱退した。 ①新施設稼働後、ごみの分別は徳島市に準ずるのか。 ②ごみの回収日も徳島市に準ずるのか。未協議であるなら協議できる余地はあるのか。	現在行っている分別・収集の質が低下しないように、しっかりと作業部会で協議・提案していく。	徳島市の広域処理からの脱退表明により連絡会議が解散となった。他市町との連携、焼却施設の大規模修繕、バイオ処理と民間による焼却の組合せなど、あらゆる方向から調査・研究し、よりよい方法を模索・検討していく。 清掃センター
	3. 地域下水道の接続問題について グリーントウンの地域下水道が公共下水道の第二期計画に組み込まれている。これにより地域下水道の使用料金がかかり上がると考えられるが、激変緩和措置として段階的な値上げを検討してはどうか。	第一期計画区域で既に公共下水道に接続している方に不公平感を与えないためにも、料金緩和措置は考えていない。	公共下水道の整備について住民への説明会等を行い、整備目的や公共下水道料金の理解を求めている。 下水道課
橋本典幸議員	1. 新型コロナウイルス感染症の届け出 国は新型コロナウイルス感染症の全数把握の届け出について、見直しするとの報道があった。県の対応や町の見解を聞きたい。	県知事は誰一人取り残さないことを担保する手法が不十分と判断し、県は全数把握の簡略化を見送っている。本町は、基本的に県の方針により対応していく。関係機関とともに改めて基本的な感染予防策に注意を払っていく。	左記により完結。 危機情報管理課
	2. クラブ活動の地域移行・民間委託 部活動改革として、地域移行・民間委託には様々な課題がある。事故の際の対応や指導者の確保とその報酬、また施設使用料など。短時間での準備、実現は困難であるが所思を問う。	地方都市では、クラブチーム等の民間事業者の不足、指導者の人材や練習場所も充分ではない等多くの問題点がある。 また、費用負担や保険への加入等課題も多く、県と協議していく。	まもなく国・県から示される詳細により、予算化・組織体制を含め対応する。 教育委員会
	3. スポーツ施設の空調整備 町の様々なスポーツ施設、Y G Kドームをはじめ、町民体育センター、サンビレッジ北島、サンライフ北島、武道館などに空調整備の年次計画を立てるべきと考えるが所思を聞きたい。	北島町武道館、町民体育センターは、来年度スポットクーラーを設置する準備を考えている。 学校体育館については、来年度から令和8年度までに体育館空調設備工事を順次施工する予定となっている。 学校以外の体育館へは小中学校の空調設備の使用状況を確認しながら検討していきたい。	町の様々なスポーツ施設について利用状況を確認、改修等を含め検討していく。 教育委員会
伊勢政二議員	1. 保育事故急増について 内閣府は、2021年度に全国の保育所や幼稚園、認定こども園での子どものケガなどの事故が2,347件あったと発表している。保育現場の慢性的な人手不足があるというが、現状をお伺いしたい。	配置基準は満たしているが、今後も安全な保育体制が取れるように園と共に取り組んでいく。	安全な保育体制が取れるよう、園と共に取り組む。 子育て支援課
	2. 民生委員にタブレット貸出 民生委員・児童委員にタブレット端末の貸出を提案したい。町職員を含む定期的な会合のオンライン化や、現場での活動にも役立てていただくのが目的である。	今年度は委員の一斉改選の年でもあり、タブレットの活用について民生委員・児童委員からも意見をいただき検討していく。	改選後の委員が委嘱され新たな体制となった。今後、活用についての意見を聞いていく。 社会福祉課

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
	<p>3. 徳島ガンパロウズオルトの支援について 徳島ガンパロウズオルトは、中国・四国・九州地域リーグに参戦している県内唯一のチームである。YGKドームを徳島ガンパロウズオルトの練習会場として提供することを提案したい。</p>	<p>関係機関に打診し、近隣の市町村の施設使用状況も確認しながら前向きに検討したい。</p>	<p>関係機関に打診し、招致に向け協議中である。</p> <p>教育委員会</p>
	<p>4. 高齢者スマホ補助について 高齢者がスマートフォンを購入する際に、自治体が独自に補助をする動きが全国に広がっている。本町も補助金を支給できないか。</p>	<p>助成金があると購入意欲への後押しになるが、まずはスマホの操作を体験し利便性を実感してもらうことで活用を促したい。</p>	<p>スマホ教室を実施。</p> <p>社会福祉課</p>
	<p>5. サンビレッジ北島の現況について 町民プール新設から25年が経過した。施設・設備の老朽化は当然であるが、何年も前から設備の不備が変わっていない。今後の運営についての改善点等を聞きたい。</p>	<p>設備等の改修に向け、工事設計業務委託について、補正予算を計上している。来年度改修工事を実施できるよう当初予算に計上していきたい。</p>	<p>来年度中に改修工事を実施できるよう計画中である。</p> <p>教育委員会</p>
<p>真谷大輔議員</p>	<p>1. 北島町の農業の将来について 農家の高齢化や後継者不足について、新規就農者の発掘、Uターン・Iターンの斡旋、企業の誘致等を補助金、助成金を活用して、農業者を増やす施策ができないか。また、町産のブランド品目の強化、新ブランドを生み出すなど、町産の価値を高めていく取組が必要不可欠だと考えるが見解はどうか。</p>	<p>人農地プランを通じて新規就農のサポート等を行っている。今後は農作物の加工や流通等の支援について、近隣市町村の事例も参考にしていきたい。</p>	<p>左記により完結。</p> <p>まちみらい課</p>
	<p>2. 農作業の委託について 現在、農作業の委託はサポート関連会社に任せているが、機械を所有する農家にも委託できる制度を設立しておく、今後、委託する側・される側、双方助かると考えるがどうか。</p>	<p>情報提供ができる環境づくりや既存の農業団体を活用した方法等を検討していく。</p>	<p>今後既存農業団体等との交渉も含め方法を検討していく。</p> <p>まちみらい課</p>
	<p>3. 農業を通じて食育を 地元農家の協力を得て、保育園児から中学生までを対象に野菜づくりや収穫による食育をしてはどうか。</p>	<p>生産者の協力や関係機関と連携しながら、体験型の食育活動について考えていきたい。</p>	<p>生産者の協力や関係機関と連携しながら、体験型の食育活動については方法も含め検討していきたい。</p> <p>教育委員会</p>
<p>梶 哲也議員</p>	<p>1. 公共施設の在り方について 北島町公共施設等総合管理計画が本年3月に更新されたが、西高房では、投票所の老人憩の家はバリアフリーが整っておらず、西児童館も老朽化が進んでいる。これらを複合施設として建替を検討してはどうか。</p>	<p>西高房老人憩の家は、構造上十分バリアフリーに対応できず、北島西児童館は、平成25年度に耐震補強及び大規模改修工事を施工した。町内には他にも老朽化が進む公共施設があり、十分精査し、計画的に更新や複合化を図りたい。</p>	<p>精査しながら取り組んでいく。</p> <p>社会福祉課</p>
	<p>2. 案内表示板について 1階エレベーター横の掲示案内表示板は、通行の妨げになる。また手書き式のホワイトボードに予定が記入されている。これら一元化を図り、デジタル化された案内表示板を新設してはどうか。</p>	<p>デジタルサイネージの導入などで大きく分かりやすい表示が可能となっている事例もあり、住民サービス向上のため先行事例等を研究し、前向きに検討していく。</p>	<p>年度内に庁舎1階正面側と北側にデジタルサイネージの導入を進めている。</p> <p>総務課</p>

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	<p>3. 人口ビジョン総合戦略について 人口が増加している時こそ次の戦略が重要で、早い対策を講じ、高い効果を得ると示されているが、本町の人口ビジョン・総合戦略の折り返し地点を迎え、各課の施策の進捗状況が聞きたい。</p>	<p>企業活動支援事業では、各種起業支援セミナーの受講者を対象に町内で創業する事業者に対し補助金事業を行っている。 企業誘致促進事業では、県・金融機関等と連携し、町内への企業進出や雇用機会の拡大を進め、目標達成している。 サテライトオフィス等誘致促進事業は、町内の空き家等の利活用した雇用と経済循環の活性化に努めているが実績は1件である。 北島町わくわく移住支援事業は現在、申請はない。 新規就農、経営継承総合支援事業では、営農に向けたサポートを行い、現在2名が補助金制度を利用し、就農されている。 婚活支援事業では、商工会青年部の協力を得て婚活イベントを開催し、4組がご結婚されている。</p>	左記により完結。	まちみらい課
		<p>幼稚園完全2年保育実施について、現在、北島南幼稚園増築工事を施工中であり、令和5年2月末に完成予定である。</p>	令和5年4月の完全2年保育実施に向けハード・ソフト面について間もなく整備完了の予定。	教育委員会
		<p>保育環境の整備では、認可保育園開設や増築により本年四月では待機児童解消ができた。 子育て相談・支援事業では、令和2年10月に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期間中の情報提供や相談対応を行っている。</p>	左記により完結。	子育て支援課
		<p>子どもの放課後対策の充実として、児童館での預かりに待機児童がでないよう体制を整えている。</p>	左記により完結。	社会福祉課
		<p>コミュニティバス運用事業については、徳島バス・JRを活用したモーダルミックスの推進を実施しているが、コロナ禍で公共交通の利用者数が減少し、目標の達成は難しい。 圏域内での事業連携については、徳島東部地域定住自立圏において、病児保育事業・図書館相互利用事業・観光開発事業等を行っている。 DX推進事業については、オンラインサービス充実及び業務効率化について進めている。</p>	左記により完結。	総務課
		<p>高齢者の社会参加促進事業では、介護ボランティア・サポーター養成講座などを実施し、当初目標を達成している。 高齢者の生きがいづくり事業では、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターなどが中心となり地域での通いの場づくりに取り組んでいる。</p>	左記により完結。	健康保険課
		<p>地域防災力の充実強化について、自主防災組織の活性化に取組むとともに、女性防災会や防災士会などのサポートを続けている。</p>	左記により完結。	危機情報管理課
		<p>生活道路の安全対策事業では、通学路の交差点でのカラー舗装や路面標示は、3小学校において順次実施し、本年度にすべての校区での工事が終了する。車両飛び込み防止柵については引き続き協議を行っていく。</p>	飛び込み防止策の未施工部分について関係者と協議を続けている。	建設課

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
		住みよい住環境づくり事業として、住宅リフォーム補助事業を行い、概ね目標は達成している。自然エネルギー利用促進事業では、今年度より3つの補助事業を開始し、多くの方に申請をいただいている。	左記により完結。	まちみらい課
武山光憲議員	1. 地域限定の電子通貨の活用について 全国自治体でカードやスマートフォンなどで支払いができる地域限定の電子通貨を導入して地域経済の活性化に繋げる取組がある。本町も検討してはどうか。	印刷費や郵送費、換金時の事務等のコストが削減できる電子通貨は非常に魅力的であるため関係機関と協議し、先進地などを研究していく。	今後も引き続き研究していく。	まちみらい課
	2. 人口ビジョンと総合戦略のPDCAサイクルを検証してはどうか 少子化や晩婚化率など人口動態を取り巻く環境の変化が大きいことから、必要に応じて北島町総合戦略を改定し修正する事業があれば公表してはどうか。	産・官・学・金・労等の有識者と北島町地方創生推進会議を開催し総合戦略の検証を行い、必要な場合には改定を行っている。今後はホームページ等で事業の実施状況やKPIの達成度等公表していく。	左記により完結。	総務課
	3. 選挙支援カードについて 障がい者や弱者の方に必要な支援をカードに記入してもらい、選挙投票時に支援している自治体がある。本町での態勢はどうか。	選挙支援カードを導入した自治体の事例を検証し、必要とされる支援の申出に寄り添った投票しやすい体制づくりに努めていく。	令和5年に執行される選挙より、選挙支援カードを導入する。広報等により周知し、必要な支援が提供できる投票しやすい体制を作っていく。	住民課
	4. 出産祝い金について 出産育児一時金42万円が足りないという声を聞く。出産祝い金としての独自支援を検討できないか。	出産育児一時金の引き上げは、国の動向を注視しつつ、出産祝い金も含め子育て支援事業の充実を考えていきたい。	出産育児一時金については、国において引き上げる方向で進んでいるようだ。子育て支援の充実を考えていく。	子育て支援課
	5. 犯罪被害者支援について 全国自治体では県が犯罪被害者支援条例を制定し、市町村にも条例制定を促す動きがある。徳島県、本町での内容状況はどうか。	徳島県では条例を定め、総合的対応窓口を設けるほか、公益社団法人徳島被害者支援センターとも連携をしている。本町も引き続き先進事例などを研究し、検討していく。	県が開催する研修に参加して、情報を得ながら、今後の進め方を検討していく。	危機情報管理課
	6. 避難誘導について ①聴覚障がい者や外国人被災者への避難誘導について、ピクトグラムの活用が取り上げられているが、本町の状況はどうか。	各種施設で求められるピクトグラムの選択などを検討し、導入の拡大を考え検討していく。	現在のところはまだ導入例なし。今後導入する際には積極的に取り入れていく。	危機情報管理課
	②西日本豪雨時の教訓により、倉敷市真備町では、無事を知らせる黄色いタスキを玄関に掲げる実践をしている。本町でも協議してはどうか。	その手法や要領を確定し、町民の情報共有を図る必要があるため、自主防災会等から意見を聴取し、誰もが簡単にできる方策を模索していく。	コロナのため自主防災組織の会議を実施できなかったが、今後の開催時に提案、検討をしていく。	危機情報管理課
	③視覚障がい者が災害リスク情報にアクセスしやすいよう、音声版ハザードマップをHPで公表してはどうか。	作成について朗読ボランティアの方々や視覚障がい者の方、そのサポートされる方々と協議し検討していきたい。	対象となる障がい者の方々で組織される団体はなかったため、どなたか個人を抽出して意見を聴取するなど方策を考える。	危機情報管理課
	7. 罹災証明書発行の体制と損保会社との連携について 罹災証明書の発行手続きを迅速化するために、自治体と損保会社がそれぞれする被災家屋の調査を一本化し、損保会社と協定を結び被害状況写真等を無償提供されるよう検証してはどうか。	国の動向も見極めつつ、また各事業者から有効性について情報提供をいただきながら、業務の効率化に向けて模索したい。	まだ国からの方針は示されていないが、各種研修などに参加しながら、町としての対応の手法を考えていく。	危機情報管理課

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
	<p>8. 家庭訪問の廃止について コロナ禍での教育現場での働き方改革について家庭訪問の在り方が見直されてきている。各関係者と協議してはどうか。</p>	<p>今後は学校と保護者が双方の負担を軽減しながら、効率的・効果的に実施できる方法を検討したい。</p>	<p>学校と効率的・効果的に実施できる方法を検討していく。</p> <p>教育委員会</p>
	<p>9. 成人式の名称変更について 成人年齢が18歳に引き下げられ、20歳を対象とした式典の名称を変更する自治体もある。本町の見解を聞きたい。</p>	<p>本町では20歳を対象に「はたちのつどい」として開催している。18歳は受験や就職など重要な進路選択の時期と重なることや、各家庭保護者の負担等も考慮し従来どおりの開催を考えている。</p>	<p>令和5年「はたちのつどい」として開催した。今後も同様に実施する予定。</p> <p>教育委員会</p>
	<p>10. 小1プロブレムについて 小学校に入学した児童が、集団行動を取れないなど学校生活に馴染めない問題について、本町での小学校と幼稚園・保育所との連携の実施状況はどうか。</p>	<p>現在も園外保育や体験入学等、幼小連携を実践しているが、今後5歳児から小1の2年間の架け橋期の幼児教育を一層充実させるよう取り組んでいく。</p>	<p>教育現場と協議し保護者の協力のもと、学校生活の充実させるよう取り組んでいく。</p> <p>教育委員会</p>
佐々木紀子議員	<p>1. コロナ禍の女性就労支援とデジタル人材の育成について 女性やひとり親家庭への就労支援として ①IT系資格試験受講料に対する補助事業への応募件数や男女別申込人数と、今後の課題や展望を聞きたい。</p>	<p>IT系資格取得補助の交付件数は男性1件、オンライン教材の利用補助の交付件数は10件で、利用者数にして7名で、合計8名（男性7名・女性1名）である。今後の展望等は、IT系資格取得に加え、デジタル人材関連のオンライン教材利用補助を開始したところであり、まずは既存の民間サービスの利用促進を図り、その他の有効な施策の情報収集にも努めていく。</p>	<p>左記により完結。</p> <p>総務課</p>
	<p>②政府は4月、女性デジタル人材育成プランを策定し3年間、集中して推進すると発表した。本町も女性デジタル人材の育成から就労までの後押しを展開してはどうか。</p>	<p>労働政策担当課と連携を図り、有効な施策を検討していく。</p>	<p>継続して検討する。</p> <p>総務課</p>
	<p>2. 北島町再発見ガイドブックの刷新について ガイドブックは、現在ふるさと納税の御礼状に添えているが、更なるPRとして、 ①現在、きたじまブランドに認定の商品は何点あるのか。</p>	<p>現在認定されている商品は、4事業者による12点である。</p>	<p>左記により完結。</p> <p>まちみらい課</p>
	<p>②QRコードを活用した情報発信ガイドブックに刷新してはどうか。</p>	<p>リニューアルの際はITの活用も含め、より本町の魅力を発信できるような作成に努める。</p>	<p>令和5年度新しくガイドブックを作成予定。</p> <p>まちみらい課</p>
	<p>③転入手続き時や町のイベント、近隣の観光案内所・道の駅、町内のコンビニに置かせてもらい、PRしてはどうか。</p>	<p>設置場所を公共施設以外に民間企業にも協力いただき検討していきたい。</p>	<p>設置場所についても効果的な場所を検討していきたい。</p> <p>まちみらい課</p>
	<p>3. 聴覚障がい者への支援について 人工内耳装用は、最初の手術や入院費、体内外装置には保険適用があるが、装用後の部品の購入や、体外器買換え等、自己負担の割合も多い。 ①人工内耳用電池の助成をしてはどうか。 ②体外器の買換え時に助成をしてはどうか。</p>	<p>国の制度である補装具費支給制度において補装具の種目は、自治体独自に拡大することができないため、先進自治体では、日常生活用具として別の枠組みの中で電池や買換えの助成をしているところが多い。本町も負担軽減について近隣市町の状況も参考に、制度の整合性なども勘案しながら前向きに検討していきたい。</p>	<p>人工内耳用電池の助成を実施予定。</p> <p>社会福祉課</p>

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	<p>4. 町内の公共施設におけるデジタル障がい者手帳「ミライロID」の活用について ①町内公共施設では、障がい者手帳提示時に優待割引となる施設は何箇所あるのか。</p>	サンビレッジ北島の温水プールとトレーニングルームの利用料について割引となる。	左記により完結。	社会福祉課
	②本町もミライロIDを活用できるようにしてはどうか。	ミライロIDは民間企業が提供するスマートフォンのアプリであり、利用者の負担も少なく、導入費用もないことから今後、実施に向けて関係機関と協議していきたい。	サンビレッジ北島で導入済。	社会福祉課
	<p>5. 原油価格高騰の影響による助成事業について 原油価格の高騰により物価高は、今秋以降も町民生活に影響を及ぼすことが懸念される。 ①昨年度と同様に灯油補助事業を行ってはどうか。</p>	国において住民税非課税世帯に更なる対策を講じることとされた。今後の動向に注視していく。	左記により完結。	社会福祉課
	②農林水産省は、肥料コスト上昇分の7割を国が補填する支援を公表した。町も国以外の支援策を検討してはどうか。	町独自の支援策として、コロナ禍で原油価格・物価高騰の影響を受けている事業者や、売上が大幅減の事業者に給付金の実施を考えており、この事業では農業者も支援対象としている。	「北島町物価高騰対策農業者支援給付金」として個人5万円、法人10万円の給付を行った。	まちみらい課
	<p>6. 住民課窓口でキャッシュレス決済の導入を 住民課窓口での各種証明書交付の手数料支払いについて、電子マネーやクレジットカード、2次元コード決済によるキャッシュレス化と、セミセルフレジの導入を検討してはどうか。</p>	本年度中に出納室前に2種類のセルフレジを設置するため補正予算を計上している。	年度内に庁舎1階出納室前に2種類のセルフレジの導入を進めている。	総務課
		今後、接触機会の軽減や住民の利便性の向上となるようなキャッシュレス決済等の導入を検討していく。	引き続き、住民課窓口におけるキャッシュレス決済等の導入について検討していく。	住民課
増谷楨通議員	<p>1. 通学路の改修問題について ①老門交差点での交通事故は多発しており、377名の署名を付けて町長に要請した。抜本的な改良について見解を求めたい。</p>	8月24日に本町の要望書を徳島板野警察署へ提出した。また、県の担当課にも要望書の提出に向けて調整をしてもらっている。今後も関係機関と連携し、改善につながるよう早急に取り組んでいく。	新たに注意喚起の看板を設置したところであるが、2月末に歩車分離式の信号へと改良工事を行う予定とのことである。	建設課
	②9月1日発行の議会だよりに各校区の通学路の危険箇所や改良の問題点を提示した。是非早急に改善願いたい。	学校現場からの最新の状況、要望を集約し、関係機関と連携しながら通学路の安全対策に取り組んでいく。	校区毎の確認は来年度も継続しながら、学校現場からの要望を集約し関係機関と連携していく。	教育委員会
	<p>2. 子どもを取り巻く環境改善問題について 来年、国はこども家庭庁を創設し、鳴門市は子ども条例の制定を進めると報道されている。北島町はどのような取組をするのか。</p>	妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」の設置に向けて準備を進めていく。また、子ども食堂、フードバンク等、地域の中からもご支援いただいている。	地域の中からも支援を行っていたに感謝している。地域の皆様のお力もお借りしながら、更なる支援の充実に取り組んでいく。	子育て支援課
	②「無園児」国が対策への報道がある。北島町は、子育て支援施設を購入し、対策に取組んでいるが現状はどうか。	子育て支援施設では、発達相談や、育児不安についての相談などに取組んでいる。今後も地域とのつながりを大切に、孤立させない子育て支援を行っていきたい。	子育て支援施設での相談事業等、支援の充実に取り組んでいく。	子育て支援課

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	③北島町におけるヤングケアラーやいじめ、虐待の現状はどうか担当課長の答弁を求めたい。	<p>ヤングケアラーは身近な大人の気付きが大切になってくる。各関係機関と協力し早期発見と現状把握、情報共有に努めている。</p> <p>また、県により行われた県下全域の小学6年生から高校3年生を対象にしたヤングケアラーの実態調査の結果を見て対応を検討していきたい。</p> <p>児童虐待については、周囲の温かい支えと適切な支援が必要であり、子育て支援施設では、悩みを抱える家庭が相談しやすい身近な場所となるよう広報や相談支援を行っている。</p>	<p>県が行ったヤングケアラー実態調査の今後の予定は、『現在、分析中の調査報告書（全体版）の結果がまとまり次第、市町村や学校など関係機関に情報共有の上、支援施策に反映していく』とされているので、その調査報告書を見て対応を検討していく。</p>	子育て支援課
		<p>いじめの実態把握についてはアンケート・家庭訪問・スクールカウンセラーへの相談、生活ノート等で状況把握に努めている。</p> <p>また、当該児童生徒への対応としては、校長・教頭からの指導・保護者への報告等を行い、学校における日常の取組みとしては、教職員間で共通理解を図り校内研修会を実施している。今後も十分に注意を払い、解消に努めていく。</p>	<p>実態把握に努め今後も継続して指導していく。またスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーへの相談も担任等の生徒に近い立場の職員から促し問題解決に努める。</p>	教育委員会
	④子ども食堂もおかげさまで、軌道に乗りつつある。現在の防災施設の1階和室にクーラーを設置していただきたい。	<p>江尻防災施設の整備は国の補助を受けており、改修等は慎重に確認し、サーキュレーターやスポットクーラーなどの導入と共にあわせて検討していく。</p>	<p>県に施設改修の可否を確認をしたところ、使用目的が計画と変わらないものなら問題ないとの回答を受けたので、1階にもクーラーを設置した。</p>	危機情報管理課
	⑤高知県では不登校生のために、タンポポ教室の設置を進めている。北島町も設置してはどうか。	<p>校内適応指導教室の設置は、必要に応じて県に要望し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を活用しながら支援していきたい。</p>	<p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーのアドバイスを取り入れながら、今後も県の動向に注視していく。</p>	教育委員会
	<p>3. 生活支援問題について</p> <p>①県の新型コロナウイルス感染症は、国内最高となっている。物価も値上げされ、住民は悲鳴をあげている。非課税世帯に電気代高騰の対策として、1世帯につき1万円を助成する自治体もあるが本町も何らかの助成を考えてはどうか。</p>	<p>国の動向に注視しつつ、住民生活の安定の一助となる施策を検討していく。</p>	<p>国の価格高騰緊急支援給付金事業を実施した。</p>	社会福祉課
	②北島町もコロナ感染者が拡大しているが、感染者の支援、後遺症対策はどのようにしているのか。	<p>相談内容は、発熱や濃厚接触が疑われる方などからの対処方法やコロナ検査の方法等がほとんどで、受診・相談センターやワクチン検査パッケージなど紹介している。</p> <p>後遺症に関しては、コロナ後遺症相談窓口を案内している。</p>	<p>左記により完結。</p>	健康保険課
	<p>4. 土木・建設問題について</p> <p>①建設事業の繰越や不用額の割合が高い。道路舗装や街灯のLED化などに振り替えられないか。</p>	<p>各事業の進捗状況を詳細に把握し、財政担当課と協議のうえ別事業に活用できないかを検討している。</p>	<p>年度末に向け各事業の再確認および補正予算対応等をおこない不用額を少なくしていく予定である。</p>	建設課
	②河川敷堤防道路の改良や河川敷の公園化など積極的に県・国に要望していくべきであると考えますが町長の答弁を求めたい。	<p>堤防上の道路は、町が事業主体となり用地買収や工事を行う。県道としての利用区間は、県が事業主体となる。河川敷での公園整備は、堤防建設の際に事業を進めるのが効率的であるため国へ要望していく。</p>	<p>2月13日に旧吉野川出張所、続く14日に徳島河川国道事務所および四国地方整備局へ公園整備を含む堤防の整備要望を行った。</p>	建設課

令和4年第3回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	<p>5. 脱炭素問題について</p> <p>①東邦フィルムは太陽光発電パネルで工場の消費電力30%強を賄っているという。脱炭素宣言の町として、工場に太陽光パネルの設置を要望してはどうか。奨励するための補助金制度はないのか。</p>	<p>北島町再生可能エネルギー導入目標策定業務の中で、工場への要望等を検討し協力をお願いしていきたい。</p> <p>また、環境省や経済産業省などの支援制度を有効活用しながら進めていく。</p>	左記により完結。	
	<p>②電気自動車購入による、個人に対する助成制度はあるのか。</p>	<p>北島町電気自動車等普及促進事業は、事業者のほか個人も対象に購入補助を行っている。</p>	左記により完結。	
	<p>6. 清掃事業について</p> <p>①ごみ処理の広域化について、松茂町は正式に脱退した。新聞報道では、徳島市は次の建設地問題まで持ち出している。民間委託など別の方法を考える時期がきたのではないのか。</p>	<p>松茂町の脱退により施設の規模や事業費の変更が考えられる。連絡会議で少しでも早い稼働に向け協議、要望していく。</p>	<p>徳島市の広域処理からの脱退表明により連絡会議が解散となった。他市町との連携、焼却施設の大規模修繕、バイオ処理と民間による焼却の組合せなど、あらゆる方向から調査・研究し、よりよい方法を模索・検討していく。</p>	
	<p>②三豊方式や、徹底したごみ資源化を取り入れた民営化の方針に切替えるべきであると考えているが町長の見解を求めたい。</p>	<p>三豊方式やごみの資源化を取り入れた民営化については今後も調査・研究していく。</p>	上記に同じ	
	<p>③キエー口等を使い、生ごみを燃やさない方式でCO2を削減するなどの情報を取り入れ、本町としての方針を出すべきであると思うが見解を求めたい。</p>	<p>様々な方法を調査研究し、生ごみ処理機の補助事業等を活用したごみ減量化についても啓発していく。</p>	<p>生ごみ処理機の補助事業等を活用したごみ減量化について、広報等による啓発を準備している。</p>	
	<p>④最終処分場の終了はどのようなになっているのか、担当課長の答弁を求めたい。</p>	<p>廃止基準に規定される構造基準に適合している証明について、専門のコンサルタント等に委託する予算化への協議を進めている。</p>	<p>廃止基準に規定される構造基準に適合している証明について、委託できる専門のコンサルタント等を調査し、協議を進めていく。</p>	
	<p>7. デジタル化問題について</p> <p>①議案や資料のペーパーレス化や、他議会では議場での議案説明の映像化など進んでいる。本町も早急に検討すべきであるが見解を聞きたい。</p>	<p>議会でのコンセンサスが大切な要素と考えており、町議会と一緒に検討していきたい。</p>	<p>12月議会における総務常任委員会で総務課の委員会説明資料を試験的にタブレットを活用して実施した。今後も町議会とともにデジタル化について検討する。</p>	